

表2：水素経済活性化ロードマップにおける将来目標

項目			2018年	2022年	2040年	
利用	モビリティ	燃料電池自動車累計生産	1,800台	81,000台	6,200,000台	
		うち内需向け	900台	67,000台	2,900,000台	
		乗用車累計生産	1,800台	79,000台	5,900,000台	
		うち内需向け	900台	65,000台	2,750,000台	
		バス累計生産	2台	2,000台	60,000台	
		うち内需向け	2台	2,000台	40,000台	
		タクシー累計生産	－	－	120,000台	
		うち内需向け	－	－	80,000台	
		トラック累計生産	－	－	120,000台	
		うち内需向け	－	－	30,000台	
	水素ステーション	14カ所	310カ所	1,200カ所		
	船舶・列車・ドローン・機械など	(2030年までに商用化・輸出)				
	エネルギー	燃料電池	発電用	307MW	1.5GW	15GW
			うち内需	－	1GW	8GW
家庭・発電用			7MW	50MW	2.1GW	
水素ガスタービン		(2030年以降、商用化)				
供給	水素供給量		13万トン／年	47万トン／年	526万トン／年	
	生産方式		化石燃料ベース	水電解活用	グリーン水素活用 (水電解+海外生産)	
水素価格			－	6,000ウォン/kg	3,000ウォン/kg	

注1：各年の「累計生産」は、過去から当該年までの生産台数の累計をいう。

注2：「－」は原資料に記載なし。

出所：産業通商資源部「世界最高水準の水素経済先導国に跳躍－政府、『水素経済活性化ロードマップ』を
発表－」（2019年1月16日）